



<http://www.kcc.zaq.ne.jp/myohokkein>

2011年(平成23年)6月13日発行  
ろおたす通算381号 Vol.1

日蓮宗  
正中山別院 護国山妙法華院  
広報機構委員会  
〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町4-5-8  
TEL(078)575-2608 FAX(078)577-7651  
lotus-k@kcc.zaq.ne.jp

# お待たせ! 妙法華院寺報「ろおたす」リニューアル版 その名は、「LOTUS ROOT」!



## 「智孝サンは智孝サン」

コレでいいのだ。

檀家さんから最近「どうお呼びしたら良いですか?」という質問をよく受けます。今まで気軽に「智孝サン」と呼んでいたものの、住職になつたのでそう言うわけにはいかない…といった気遣いや戸惑いがあるようです。「智孝サン」は今までどおり「智孝サン」で結構です。

私は「智孝サン」、家内は「陽子サン」、師匠は「院首サン」、隆将サンは「清水上人」、お山は「身延サン」でお願いします。

「れんこん」のままでは、あまりにも間が抜けていると言う事で、グローバル化を目指す当山としては、ナウイ英語表記の「LOTUS ROOT」にしました。

この寺報もお寺と檀信徒を結ぶ良い役割を担つてくれたら…との思いで創刊します。

「れんこん」のままでは、あまりにも間が抜けていると言う事で、グローバル化を目指す当山としては、ナウイ英語表記の「LOTUS ROOT」にしました。

この寺報もお寺と檀信徒を結ぶ良い役割を担つてくれたら…との思いで創刊します。

「れんこん」のままでは、あまりにも間が抜けていると言う事で、グローバル化を目指す当山としては、ナウイ英語表記の「LOTUS ROOT」にしました。

講話の後は、3階会議室において、運営会議が開かれ、総会へ向けて去年一年間の委員会の活動報告等や今後の行事予定などが話し合われました。

この日は妙法華院を開山された日龜上人、及び歴代先師の開山会報恩法要です。法要では法蓮寺の内藤経雄上人による素晴らしい聲明「対揚」が堂内に美しく響き渡りました。今日は妙法華院を開山された日龜上人、及び歴代先師の開山会報恩法要です。法要での初めての講話「何のために私たち生きているのか」と



人間は苦から逃れる事は出来ません。どう乗り越えるか! です。

ありがたい法話に無言の相槌!?

四月十日(日)



新住職初講話

開山会法要



法燈継承から半年、今お寺では、新しい体制の構築を目指してまっしぐらに突き進んでいます。その様子を新しい寺報と共に貴方の元へ届けます。

今ナゼゆえに、「LOTUS ROOT」なのか

住職 新聞 智孝

皆さん。こんにちは。

まだまだ座り慣れない禮

盤の上でもそもそもぞして

新米住職です。檀家の皆様

にお参りしていただきやす

いお寺づくりを目指して、

日々精進しております。

さて先代である師匠は、

「世界の平和と淨福をめざ

す寺」を生涯の目的として

邁進され、それは蓮華を表

す「ろおたす」という言葉

に集約されてきました。ま

た合わせて寺院建築も同時

に進められてきたのは、皆

様ご承知のとおりです。

私は、この大きな法城を

与えられての門出となりま

した。私の代の使命は、こ

うした大きな伽藍に人々が

集い、活気溢れるお寺にす

る事だと考えています。そ

の為には、檀信徒ひとり一

人のつながりや信仰心を今

一度、見つめ直さなくては

なりません。そこで、私の

テーマは「れんこん」にし

ようと考えました。ユーモ

ラスなイメージのある野菜ですが、つまり蓮の根っこ。大きな蓮華の大輪を咲かせるには、足元がしっかりと力強くそして太く成長しないと倒れてしまいますが。日蓮聖人も「根深ければ枝しげし」というお言葉を残されています。

れんこんの穴は、何のために空いているのかご存知でしょうか?あの穴は葉っぱから取り入れた酸素や栄養素を、泥の中に埋まつた根っこに運ぶ命のパイプラインなのです。

私たちは、みんなひとり一人違っていてもお題目という縁で結ばれています。その結びつきは、れんこんのように、切れかかっています。まるうでも実は、キッチリと繋がっている…。それもお題目の香風がかよいあう通り道を残して手を携えています。

この寺報もお寺と檀信徒を結ぶ良い役割を担つてくれたら…との思いで創刊します。

「れんこん」のままでは、あまりにも間が抜けていると言う事で、グローバル化を目指す当山としては、ナウイ英語表記の「LOTUS ROOT」にしました。

この日は二日前のおはなまつりと打って変わつてお天気は快晴。廻廊を通り抜けて、初夏を思わすような爽やかな風が本堂に吹き込み、お香の煙が風に漂っていました。今日は妙法華院を開山された日龜上人、及び歴代先師の開山会報恩法要です。法要では法蓮寺の内藤経雄上人による素晴らしい聲明「対揚」が堂内に美しく響き渡りました。今日は妙法華院を開山された日龜上人、及び歴代先師の開山会報恩法要です。法要での初めての講話「何のために私たち生きているのか」と





